月森孝介未公開執刀録

本編をクリアすると出現する、月森孝介未公開執刀録。スタート画面でOPERATIONを選択し、カーソルをいちばん下まで移動させると、X1：キリアキというタイトルが表示されている。このX1をクリアするとX2：デフテラが出現、というように全部で7つのギルス手術が楽しめる。処置の手順は本編と変わらないが、ギルスの強さは本編がやさしく思えるほど強くなっている。



未公開執刀録の手術レベルは高いが、X1のキリアキをクリアできれば、ほかは楽勝だぞ。

X1：キリアキ

手術開始直後、さきに4つの裂傷を縫合してから血だまりができている裂傷の縫合を行なう。裂傷をさきに縫合しておくと、無傷の状態でキリアキを出現させられるのだ。最後の裂傷を縫合するまえにバイタルを99まで上げ、超執刀を発動させてからすぐに最後の縫合に入ろう。

縫合が終わると同時に3体のキリアキが出現。3体を一度に露出させ、一瞬ずつレーザーを照射し、ほぼ同時に駆逐すること。すぐに2体のキリアキが出現するので、こちらも2体同時に露出させよう。露出後は、レーザー照射に移るのではなく、回復剤を1、2回投与すること。ここで回復をしておかないと、バイタルの回復が追いつかず、手術継続が困難になってしまう。投与後は、レーザー照射中にバイタルが0にならない程度まで裂傷の縫合や回復剤投与を行ない、2体のキリアキを駆逐しよう。2体を駆逐したあとは、ヒールゼリーで治療できる傷をひとつだけ残してバイタルを99にすること。最後の傷の治療が終わると、マザーとキリアキのセットが出現する。

マザー出現後、まずはマザーが作った3つの大きな裂傷を縫合。つぎに2体を同時に露出させる。露出させたらマザーにヒールゼリーを塗りつけて動きを止め、そのスキにキリアキを駆逐。マザーの動きを止めながら裂傷の縫合、回復剤の投与を行なう。バイタルが60程度を保つようになったらマザーの照射に入る。マザー駆逐の際は、露出させたら即ヒールゼリーを塗って、縫合と回復を繰り返し、再びバイタルが安定したらレーザーで照射という手順で4回レーザーを当てていこう。

X2：デフテラ

本編と同様、胃と肺の2ヵ所の手術を行なう。白と黒の腫瘍の発生頻度が早くなり、また、腫瘍によるバイタル低下が激しくなっている。発生したらすべて焼却するつもりで、つねにレーザーを持って待機しておこう。ただし、デフテラが合体をはじめたら、吸引を優先すること。なお、デフテラを摘出したあとは、切除痕の治療は後回し。回復剤を投与しながらさきに腫瘍を焼却すること。



2組のデフテラが侵食しあわないように、ヒールゼリーで進路を妨害する手段も使える。

X3：テタルティ

基本的には右下から左上へ向かって楔と通常の膜の摘出をしていく。ただし、光る膜からのダメージ量が上がり、気体の臓器への付着時間が短くなっているため、光る膜の摘出と右方向へ流れた気体の吸引を最優先で行なうことになる。気体が左方向に流れた場合は放置。どのみち膜は、処置があとになる左上の空いている部分に増殖していくので放っておいてかまわない。



光る膜からのダメージは甚大。摘出後に回復剤を投与しないとバイタルが追いつかない。

X4：トリーティ

時間と集中力との戦い。憩室の色と同じ血清を投与し、切除摘出を行なう。人工膜をすべて貼り終えるまえに、バイタルを99にしておくこと。トリーティが出現したら、それぞれの色にあった血清の投与を5回繰り返していくのだが、一度でも違う色の注射をしてしまうと、修復はほぼムリになってしまう。確実に色を覚えていない場合は手をださず回復をしておこう。



手術開始時の憩室の配置は写真のとおり。色がつきはじめるまえに血清を投与しよう。

X5：ペンプティ

つねにレーザーで核を照射しながら3タイプの小核の焼却をしていくのだが、未公開執刀録のペンプティは、タイプ1の小核の動きが異常に早い。タイミングがあわず、1個でも逃してしまい、5回ダメージを受けると立て直しはほぼ不可能となってしまう。1個目の小核への照射が間に合わないと思ったらすぐにあきらめ、そのつぎに出現する小核から焼却していこう。タイプ2はペーストが動きだすまえに、最低でも2個、できれば3個の小核を焼却したいところ。ペーストが収縮をはじめたら、腹膜にできたデキモノの焼却をしておこう。ペーストが収縮しきったら残りの小核を焼却し、残ったデキモノの処理をすること。タイプ3は核から小核がではじめたときに核への照射を続けていれば、連続してすべての小核を焼却できる。このタイミングで焼却できたときがバイタル回復のチャンスだ。

X6：パラスケヴィ

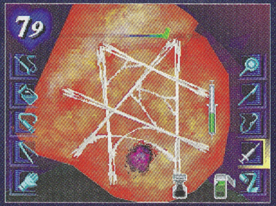
ここまでのパラスケヴィ戦と違う点は、バイタル低下が激しいことだけ。ここまでクリアできたのなら、さほど難しい手術ではないぞ。

裂傷を5本縫合したら、バイタルを99にし、6本目の縫合に入ろう。縫合が終わるとパラスケヴィが出現する。回収方法は48ページを参照。とにかくこの手術ではレーザーでパラスケヴィの動きを止めることが最優先。裂傷の縫合もバイタル回復も、パラスケヴィの動きを止めているあいだに行なうことが重要となる。また、パラスケヴィが重なりあっているときにメスを入れると同時に分裂させてしまう。動きを止めなければならない数をいたずらに増やしてしまうだけなので、パラスケヴィが重ならないように個々の動きを止めていこう。

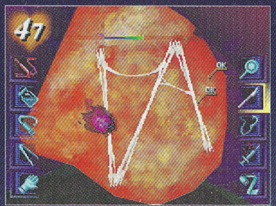
X7：サヴァト

巣の破壊をどう乗り切るかがクリアのポイント。糸の切断を第一に考え、小サヴァトの焼却、中サヴァトの焼却の順に処置をしていこう。糸の耐久度が高くなり、赤く変化するまでの時間が早く、回数が多くなっている。メスが補充されたら即、糸の切断を行なっていくのだが、メスが補充されるよりも早く、糸は赤くなってしまう。赤い糸からの大ダメージは3、4回受けることが確実なので、バイタルはつねに最低でも50にしておくこと。

巣を破壊後の第二段階では、サヴァトの防護コートの耐久度が上がり、レーザーのメモリが赤くなるまで照射しないと中和できなくなっている。メモリが赤くなった時点でサヴァトへの照射をやめ、補充されるまで様子を見つつ、小サヴァトが発生したら、とにかく少量のレーザーでいかに4体以下にするまで焼却していけるかがポイントだ。



糸が1本も切られていない状態なら小サヴァトは発生しない。立て直しのチャンスだ。



アイコンが赤くなったら照射は中断。小サヴァトが発生しないよう祈りつつ補充を待とう。